



校長室通信

小国町立小国中学校

令和 4. 3. 3 (木) No33

文責 狭間卓史



「確かな足跡」

2月7日(月)、校内SDGs発表会を行いました。この発表会の前には、各学年毎に活動班別の発表が実施されており、その成果を全校で共有するための取り組みでした。このSDGs学習は、本校の場合は「総合的な学習の時間」の中核に位置づけた取り組みで、各学年毎にテーマがあり、

- 7年生：「自分・郷土を見つめよう」
- 8年生：「自分を広げよう」
- 9年生：「自分の未来を考え、伝えよう」

このテーマに沿っての学びでした。

生徒の発表を見ていると、地域の方々の関わりが大きな取り組みがほとんどであり、町役場を始めとした町内各事業所や地域の皆様方に支えていただいていたことが伝わってきました。この学習を通して本校生徒は小国町の「ヒト、モノ、コト」の素晴らしさに気づけたようでした。この学習が目指す「ふるさとを愛する心、ふるさとに対する誇りを持つ子どもを育てる」という目標に迫ることが出来たと感じています。この学習に関わってくださった皆様方に、この場を借りましてあらためて感謝申し上げます。



【 進行は生徒会本部 】



【 7年生のトイレマーク改善提案 】



「広がる夢」

校内の発表会を経て、24日(木)に、7年生が長崎県壱岐市立石田中学校との「SDGs活動成果報告会」

(オンライン交流会)に取り組みました。この企画は小国町と壱岐市がともにSDGsの町づくりに取り組んでいることから、中学生の交流の機会を設けたいとの両市町の考えから実現したものです。

石田中学校も参加したのは1年生ということで、同学年同志の取り組みでした。

壱岐市はきれいな海に囲まれており、一部地域が国立公園に指定されるなど自然環境にも恵まれた地域だそうで、毎年多くの観光客が訪れるとのこと。また、古代から大陸との海上交通の要衝になるなど、歴史ある島だそうです。石田中学校の発表は、その豊かな自然に目を向けた取り組みでした。きれいな海の環境を守るために地域の方々に呼びかけたゴミ拾い活動など、自分たちに来る活動が工夫され取り組まれていました。今後の取り組みとして情報発信にも取り組んでいきたいとのことでしたが、海と山という違いはありますが本校の取り組みと共通する点がありましたし、本校生徒にとっては今後の活動にさくさんのヒントと刺激をいただける時間となりました。いつの日にか是非とも訪ねてみたい島です。



【 オンラインでの学び合い 】



【 石田中も素晴らしい実践でした 】

※校長室通信は「[小国中ホームページ](#) → 『校長室から』コーナー」でカラー版をご覧ください。